

1. 単元名 考えよう！身近な福祉

～だれもが幸せに暮らせるために、自分にできることをみつけよう～

2. 単元目標

- 福祉に関わる人の話を聞いたり、福祉体験をしたりすることを通して、福祉の意味や地域の現状、高齢者や障がいがある人の思いや願いを理解するとともに、自分の課題を見つけ、課題解決のために必要な知識・技能を身に付けることができる。 【知識及び技能】
- 課題解決に向け、方法を選択して情報を収集し、分かりやすくまとめたり、相手に伝えたりすることができる。 【思考力・判断力・表現力等】
- 課題解決に向けて主体的に、また、友達と協力し合いながら取り組み、自分にできることはないか考え、実践していくことができる。 【学びに向かう力、人間性等】

3. 単元設定の理由

(1) 児童の実態

(2) 学習について

「福祉教育」とは、すべての人がかけがえのない存在として尊ばれ、差別や排除されることなく社会生活の中でともに支え合い、一人一人が生きる喜びを感じることができるよう、「ともに生きる力」を育むことを目標とした教育である。少子高齢化、対人関係の希薄化、社会的弱者に対する思いやりの欠如といった問題が見られる今日、福祉教育を充実させることは重要である。

児童が福祉に携わっている人の話を聞いたり、身近な高齢者や障がいがある人とふれあったり、その人の立場に立って体験したりすることは、当事者の気持ちを実感できる貴重な活動となるであろう。そこで感じたことや気づきが、自らの課題づくりにつながり、課題解決に向けた取組が、社会生活での行動につながることを期待している。そして児童が、実際の生活の中で、困っている人を見かけたら助けたり、身近な生活の問題に気づき、解決しようとしたりするなど、他の人のことや暮らしについて考え、行動ができる人になってほしいと願っている。

(3) 指導にあたって

①単元全体について

単元を通して、児童一人一人が福祉を身近なこととして捉え、だれもが幸せに暮らせるために、自分にできることは何かということを自分自身に問いながら課題解決学習を進めていく。そのために、〈第一次〉では福祉に関わる人の話を聞くことで、福祉とは何かを理解したり、だれもが幸せになるために、様々な人が暮らしを支えていることに気づいたり、高齢者疑似体験や車イス体験など直接体験を行うことで、障がいがある人や高齢者の人の苦労や願いを感じたりしながら福祉に対する意識を高めていく。また、様々な福祉に関する本に触れることで、福祉についての知識や情報をつかんでおく。

〈第二次〉では〈第一次〉で感じたことや疑問を出し合い、お互いの考えを交流し合う。そして、様々な気づきや疑問を類型化することで、児童一人一人のテーマを明らかにし、テーマ別のグループを作る。次にグループで、どのような課題について追求していくのかを話し合う。その際、自分にできることを伝えることが、ゴールであるということ意識させる。つまり、「車イスは誰のため

にあるのか。わたし達にできることを考えよう。」「十神のバリアフリーを探してみよう。わたし達にできることは何だろう。」など、自分自身の考えや行動を問う形にする。そして、国語の学習「和の文化について調べて説明しよう」で学んだ文章構成図（序論→本論①→本論②→本論③→結論）をもとに、どのような観点で、誰が、どんな方法で調べ、まとめるのか計画を立てる。そして福祉について教わった方や地域の方を招待し、紙ポ¹を使ったプレゼンテーションで説明することを知らせる。国語科の学習では、教材文である「和菓子」について紙ポを使って説明してみせ、紙ポの特長や作成するときのポイント、説明の仕方等について学んでおく。紙ポを使った説明は、調べた事柄について資料を提示しながらポイントを示し、視覚に訴えることができるとともに、相手を意識しながら話す力を育成するために適していると考えられる。従って、〈第二次〉は、紙ポを使ったプレゼンテーションを目指し、各グループで課題作りや観点、役割分担、調査方法など、具体的に決められるよう指導、及び支援をしていく。

〈第三次〉では、課題解決に向け、役割分担に従い、自分が調べる観点について本を使って調べたり、インタビューしたりしながら様々な情報を集める。その際、グループでお互いに助け合いながら活動できるよう、個別に活動を評価しながら支援していきたい。

〈第四次〉では、プレゼンテーションをつくる。グループでお互いに自分が調べ、集めた情報を伝え合い、観点到に合わせ、説明する内容を取捨選択する。そして、自分達にできることについてまとめる。次に、選んだ内容を付箋に要約して書き、付箋を見ながら説明できるか試してみる。観点到に合った内容で、説明も分かりやすければ、説明内容に合わせ紙ポの作成を行う。紙ポの作成は、「和菓子」の紙ポを参考にしながら、グループでお互いにアドバイスし合って作業を進める。紙ポが完成したら、説明の原稿は作らず、紙ポを見ながら説明できるよう練習する。

〈第五次〉は、〈第六次〉の発表会本番に向け、さらによいプレゼンテーションをするために、実際に聞き手を前に紙ポを使って説明してみる時間となる。話し手は友達に分かりやすく紙ポで説明すること、聞き手は分かりやすいところや修正点を見つけ、伝えることなど、学習の目標をしっかりと伝え、さらによいプレゼンテーションにしようという意識づけをすることが大切である。そして次の時間は〈第六次〉の発表会に向け、アドバイスをもとに紙ポや説明を修正し、発表会本番につなげる。

そして〈第六次〉で福祉に関わる人や地域の人に向けた発表が、児童の福祉への意識をより高め、これからの自分の生き方や実践につながると考える。

②学校図書館教育との関わり

福祉に関する本に触れたり、福祉について本を活用して調べ学習をしたりするなど、学校図書館を活用した学びが学習を支える。〈第一次〉では福祉体験後、福祉に関する本を読み、福祉に対する興味・関心を高め、いろいろな気づきや疑問を引き出していく。一人一人の児童の関心がどこにあるのか、どんなことに疑問をもっているのか等を見極め、学校司書と話し合いながら選書を行ったり児童に関わったりすることで、誰もが意欲をもって学習に取り組めるようにしていきたい。

課題づくりは、児童一人一人が最後まで関心をもちながら追求できるものでなければならない。したがって課題づくりの導入では、担任の体験を通した疑問を投げかけたり、学校司書から新聞記事の事例などを提示したりして、「自分の行動、自分の生き方を問う」探求活動となるよう学習の方向付けを図る。

課題解決のための探求活動では、本を使った調べ学習において、司書教諭、学校司書と連携を図り、児童の指導を行っていく。

プレゼンテーションの方法については、司書教諭、学校司書と相談しながら国語の学習「和菓子」

¹ 環太平洋大学 榎川亨教授発案のプレゼンテーションツール

についての紙ポを作っておき、実際にそれを動かして説明する。そこで作り方のポイント（要点をまとめ短い言葉で表す、イラストを取り入れる、矢印や番号を使うなど）をまとめ、いつでも参考にできるようにしておく。

	時数	○学習活動 ※学校図書館との関わり	評価規準及び評価方法
〈第一次〉 福祉って どんなもの？	6	○ 福祉課の指導員さんの話を聞く。 ○ 高齢者疑似体験，車イス体験を行う。 ○ 交流センターでの福祉の取組について話を聞く。 ○ 体験活動を通して生まれた気付きや疑問をまとめる。 ○ 福祉に関する様々な本を読む。※	【コ】福祉に関わる人の話に関心を持ち，積極的に聞いたり質問したりしている。 (行動観察，学習カード) 【コ】体験活動に意欲的に取り組み，気付きや疑問を書いたり説明したりしている。 (行動観察，発言，学習カード)
〈第二次〉 課題解決に向けて計画を立てよう。	4	○ 気付きや疑問を出し合い，自分なりの課題を見出す。 ○ テーマ別のグループを作り，どのような課題について学習を進めるか話し合う。 ○ 課題追求のための計画を立てる。※ (文章構成図，役割分担，調査方法など)	【決】自分の考えと友達の意見を聞き比べながら，課題を決めようとしている。(付箋，発言) 【課】【コ】テーマ別のグループの友達と協力し合いながら学習計画を立てている。 (発言，行動観察)
〈第三次〉 課題について追求しよう。	6	○ 課題解決へ向けて調べたり活動したりする。※ (学校図書館，インタビュー，電話など) ○ 調べた情報について整理し，それに対する自分の考えを明らかにする。※ (情報カード，学習カード)	【課】観点について本を使って調べたり，インタビューしたりしながら情報を集め，いろいろな知識を得ている。 (情報カード，学習カード，行動観察) 【課】調べた情報を整理し，自分の考えを明らかにしている。 (情報カード，学習カード)
〈第四次〉 プレゼンテーションをつくろう。	6	○ グループ内で自分が調べ，集めた情報を伝え合う。※ ○ 観点に合わせて，説明する内容を取捨選択し，自分達にできることについてまとめる。※ ○ 紙ポを作成し，説明する。※	【コ】友達とお互いの考えや調査結果を伝え合い，考えを深めようとしている。 (グループ活動，紙ポ) 【課】【コ】課題に対する結論(自分達にできること)について考えを出し合いまとめようとしている。 (グループ活動，情報カード) 【表】表現の仕方を工夫しながら紙ポを作成し，説明しようとしている。(紙ポ，説明)
〈第五次〉 さらによいプレゼンテーションにしよう。 本時(23/30)	3	○ 2または3グループで組をつくり，お互いの課題についての説明を聞き合い，アドバイスし合う。※ ○ アドバイスをもとに紙ポを修正したり，付け加えたり，説明の仕方を変えたりして，さらによいプレゼンテーションになるよう工夫する。※	【表】【コ】友達とお互いの説明を聞き合い，アドバイスし合っている。(組活動，付箋) 【コ】【表】よりよいプレゼンテーションになるよう，アドバイスをもとに紙ポや説明の仕方を話し合い，修正している。 (紙ポ，グループ活動)
〈第六次〉 発表会を開こう。	3	○ 各グループの課題について説明し合い，感想を発表し合う。※ ○ 福祉課の指導員さん，交流センター職員の方，寿会の方を招き，まとめたことについて説明する。※	【コ】友達の説明を聞き，分かったことや説明の仕方について感想を述べている。(発言) 【表】聞いてもらう人が分かりやすいように説明している。

			(説明)
〈第七次〉 学習のふり 返りをしよ う	2	○ これまでの学習をふり返り、まとめる。 ○ 協力していただいた地域の方にお礼の手紙を書く。	【決】学習をふり返り、学びで身に付けたことやこれからの自分についてまとめている。 (学習カード、発言)

③本時について

本時は、〈第五次〉「さらによいプレゼンテーションにしよう」の1時間目である。2または3グループで組をつくり、話し手のグループは紙ポを使い、課題についてまとめたことを聞き手のグループに分かりやすく説明する。聞き手は、聞くときのポイント（説明の内容、説明の仕方、紙ポの分かりやすさ、協力など）をもとに、「どこが分かりやすかったか」「どこが分かりにくかったか」「こうすればいいなと思うところ」など、話し手に具体的にアドバイスできるようにする。

三つの組に分かれて活動するが、担任、司書教諭、学校司書はそれぞれのグループの良さや修正すべき点について予め把握しておき、誰がどのグループを指導するのか決めておく。

後半、時間があれば、アドバイスをもちに、グループでプレゼンテーションのやり方を見直し、修正の方法を相談し合う。紙ポや説明の仕方をふり返り、プレゼンテーションの修正に向け、計画を立てる。

ふり返りは個別でカードに記入した後、全体で行い、分かりやすく説明することの難しさや、伝えるときのこつについての気づきなど、共通理解できるようにしたい。最後に、「次回はアドバイスをもちに紙ポや説明を修正し、さらによいプレゼンテーションにしよう」と呼びかけ、〈第六次〉の発表会への意欲を高めたい。

4. 単元の評価規準内容と育てたい資質・能力

【自己決定力】	【課題解決力】	【自己表現力】	【コミュニケーション能力】
<ul style="list-style-type: none"> 身近な福祉について考え、自分なりの課題をもつことができる。(話し合い、ワークシート) 集めた情報の中から、課題解決のための情報を取捨選択することができる。(付箋、紙ポ) 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決のための調査方法について考え、それらを用いて調べている。(文章構成図、情報カード) 自分が調べた福祉の内容について理解するとともに、自分の考えを明らかにしようとしている。(情報カード、紙ポ、説明) 	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすい説明に向け、情報を関連づけたり資料を活用したりしながら、表現の仕方を工夫している。(紙ポ) 紙ポを使って聞き手に分かりやすく説明している。(説明) 	<ul style="list-style-type: none"> 体験活動に積極的に取り組んだり、課題解決活動で友達と考えを伝え合ったりしている。(グループ活動) 友達の意見も参考にしながら紙ポを作ろうとしている。(グループ活動、紙ポ) 自分にできることについて、友達と話し合いながら考えている。(グループ活動、紙ポ)

5. 単元の展開 (全30時間)

6. 本時の学習

(1) ねらい・課題についてまとめたことを、友達に分かりやすく紙ポで説明することができる。

(話し手)

・ 分かりやすい点や修正点を見つけ、伝えることができる。

(聞き手)

(2) 展開

学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点（・）と評価（☆）																										
<p>1. 学習のめあてと流れ、聞く時のポイントを確認する。</p> <p>今日の学習 2 または 3 つのグループでプレゼンテーションをし、アドバイスし合おう。</p> <p>学習のめあて</p> <p>さらに良いプレゼンテーションにするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題についてまとめたことを友達に分かりやすく説明しよう。（話し手） ○ 分かりやすい点や修正点を見つけ、伝えよう。（聞き手） <p>学習の流れ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">14:15</td> <td>①Aグループが説明する。 ②Bグループが聞く。 ③Bグループが説明する。 ④Aグループが聞く。</td> </tr> <tr> <td>14:35</td> <td>⑤分かりやすい点、修正点を付箋に書く。</td> </tr> <tr> <td>14:40</td> <td>⑥付箋をポイント別に貼り、伝える。 ⑦教師からのアドバイスを聞く。</td> </tr> <tr> <td>14:45</td> <td>⑧グループに分かれて修正点を考える。</td> </tr> <tr> <td>14:50</td> <td>⑨ふり返りをする。</td> </tr> <tr> <td>14:55</td> <td></td> </tr> </table> <p>聞くときのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすい内容だったか。（具体的か、考えが伝わったか） ・ 分かりやすい話し方だったか。（声の大きさ、話す速さ、視線、表情等） ・ 分かりやすい紙ボだったか。（絵、写真、記号、文字の大きさ等） ・ 助け合って発表していたか。 <p>2. 2 または 3 グループで組をつくり、順番に課題について説明したり聞いたりする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">手話A 4人</td> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">車イス3人</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">手話B 4人</td> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">バリアフリー4人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: left;"> 障がいについて3人 十神の福祉 3人 点字 5人 </td> </tr> </table>	14:15	①Aグループが説明する。 ②Bグループが聞く。 ③Bグループが説明する。 ④Aグループが聞く。	14:35	⑤分かりやすい点、修正点を付箋に書く。	14:40	⑥付箋をポイント別に貼り、伝える。 ⑦教師からのアドバイスを聞く。	14:45	⑧グループに分かれて修正点を考える。	14:50	⑨ふり返りをする。	14:55		手話A 4人	車イス3人	手話B 4人	バリアフリー4人	障がいについて3人 十神の福祉 3人 点字 5人		<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習のめあてと流れ、聞く時のポイントを書いたものを掲示しながら説明し、意識づけを図る。 ・ 聞き手は、付箋に分かりやすい点（ピンク）、修正点（青）を書き、ホワイトボードにポイント別に貼って伝えることを知らせる。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">分かりやすい内容だったか。</td> <td style="width: 25%;">分かりやすい話し方だったか。</td> <td style="width: 25%;">分かりやすい紙ボだったか。</td> <td style="width: 25%;">助け合って発表していたか。</td> </tr> <tr> <td style="height: 50px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担任、司書教諭、学校司書で担当する組を決めておき、その組の活動を支援する。 ・ アドバイスしやすいように、共通した内容があるグループや発表する内容が近いグループを同じ組にする。 ・ 配慮が必要な児童が安心して聞くことができるよう、説明の順番を予め伝えておく。 <p>☆ 課題についてまとめたことを、分かりやすく説明している。【自己表現力】</p> <p>☆ 聞くときのポイントを意識して聞こうとしている。【コミュニケーション能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 付箋に書きにくい児童には、話し手の紙 	分かりやすい内容だったか。	分かりやすい話し方だったか。	分かりやすい紙ボだったか。	助け合って発表していたか。				
14:15	①Aグループが説明する。 ②Bグループが聞く。 ③Bグループが説明する。 ④Aグループが聞く。																										
14:35	⑤分かりやすい点、修正点を付箋に書く。																										
14:40	⑥付箋をポイント別に貼り、伝える。 ⑦教師からのアドバイスを聞く。																										
14:45	⑧グループに分かれて修正点を考える。																										
14:50	⑨ふり返りをする。																										
14:55																											
手話A 4人	車イス3人																										
手話B 4人	バリアフリー4人																										
障がいについて3人 十神の福祉 3人 点字 5人																											
分かりやすい内容だったか。	分かりやすい話し方だったか。	分かりやすい紙ボだったか。	助け合って発表していたか。																								

<p>3. 分かりやすい点，修正点を付箋に書く。</p> <p>4. 付箋をポイント別に貼り，伝える。</p> <p>5. さらによいプレゼンテーションにするために，アドバイスをもとに修正点について考える。</p> <p>6. ふり返しを行う</p> <p>めあてについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上手に説明できた。(話し手) ・ 緊張して早口になったり，説明することを忘れてしまったりした。(話し手) ・ 友達の説明が分かりやすかった。(聞き手) <p>感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表会ではもっとがんばりたい。 ・ 説明が分かりやすかったと言われ，うれしかった。 ・ 紙ポの絵が分かりにくかったので，○○の図を準備しておく。 <p>6. 次時の予定「プレゼンテーションの修正」について知らせる。</p>	<p>ポを見て考えるよう助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の意見が的確か，ポイント別に貼ってあるか等，確かめながら話を聞く。 ・ 児童が気付いていない点があれば，アドバイスしたり，ポイント別に付箋を整理したりしながら，話し手が理解しやすいように可視化を図る。 <p>☆ 付箋をポイント別に貼り，分かりやすい点や修正点をアドバイスしている。</p> <p>【コミュニケーション能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ全員で修正点について考えるよう，声かけをする。 ・ 話し手，聞き手，両方のふり返しを行うよう声かけをする。 ・ 抽象的な感想は，具体的な言葉で言うように促す。 ・ 児童の気づきを板書し，本時の学びを共有化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動で見つけた児童の良いところを伝え，自信につなげる。 ・ 発表会に向け，プレゼンテーションの修正の意欲をもつことができるようにする。
--	---

(3) 評価

十分満足と判断される児童の姿	概ね満足できると判断される児童の姿	支援を要する児童への指導と手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙ポを使って分かりやすく説明している。 ・ 分かりやすい点，修正点を見つけ，具体的にアドバイスしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙ポを使って説明している。 ・ 分かりやすい点，修正点を見つけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞くときのポイントに沿って，分かりやすい点，修正点を見つけるよう助言する。

(4) 研究の視点

- 友達に分かりやすく説明するために，紙ポを使ったことは有効であったか。
- 修正点について考えるために，付箋を活用してアドバイスし合ったことは有効であったか。